

令和4年10～12月期の大型コンクリート製品の出荷状況は、前年同月比でマイナス78%となっている。

出荷の内訳は、スノーシット、スノーシェルター類が41%で、長岡国道のR289 八十里越に出荷された。次に、ダム監査廊が31%で、内ヶ谷ダム(岐阜県)・鶴川ダム(新潟県)・立野ダム(九州地整)に出荷された。長尺側溝類が23%で新潟県内の農業水路に使用された。他、大型BOXカルバートが5%で、新潟国道管内の朝日温海道路に出荷された。コンクリート舗装版の出荷は無い。

また、大型製品の対象とはならないが、河川護岸の整備・強化等への出荷はある。

大型コンクリート製品出荷量の推移

(単位：%、千t)

県名	令和3 年度計	令和4年度				累計	備考
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
新潟県	+69	+∞	▲71	▲80		▲62	
	5.30	0.59	0.66	0.44		1.69	
富山県	▲30	+∞	+107	▲39		+234	
	0.62	0.65	0.60	0.20		1.45	
石川県	+∞	▲∞	▲∞	▲∞		▲∞	
	0.66	0.00	0.00	0.00		0.00	
3県計	+63	+∞	▲57	▲78		▲14	
	6.58	1.24	1.26	0.64		3.14	

(注) 大型コンクリート製品とは、大型ボックスカルバート(幅4m高3m以上で分割製作されたもの)、長さ5m以上の長尺側溝類、監査廊、コンクリート舗装版融

雪舗装版を含む)、スノーシット、スノーシェルターをいう。

『一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会』 <http://www.hokudocon.jp>